



TITLE:

七月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

七月の天象. 天界 1924, 4(42): 251-251

ISSUE DATE:

1924-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160077>

RIGHT:

七月の天象

太陽 赤緯は六時四十一分より八時四十二分迄増加し、赤緯は北二三度七分から北一八度一七分迄減少す。二十日太陽は夏の第二の宮なる獅子宮に入る。

氣節

半夏生(黄經一〇〇度) 二日

小暑(黄經一〇五度) 七日 午前七時三〇分

土用(黄經一一七度) 二十日 午前九時三二分

大暑(黄經一二〇度) 廿三日 午後〇時五八分

夜明 日出入、日暮の時刻及日出入方位

夜明 日出 日入 日暮 方 日出入

一日 三時 四時 五時 六時 七時 八時 九時 十時 十一時 十二時

十六日 三時 四時 五時 六時 七時 八時 九時 十時 十一時 十二時

日の視半徑 分 秒

七月九日 一五 四五 二九 日 一五 四七

十九日 一五 四六 日 一五 四七

日最遠 三日午後十時地球は遠日點にあり

太陽より最も遠く離れ、其の距離一億五千九百

九十八萬五千餘軒。日視半徑一五分四五秒。

月 二日午後二時三十分新月 十日午前六

時四六分上弦月 十六日午後八時四九分滿月

廿四日午前一時三五分四八秒下弦月、十五日

午前七時六分近地點を、廿七日午前九時三〇

分遠地點を通過す。

水星 一日赤緯六時一八分 赤緯北二四度

一分、十六日赤緯八時三四分、赤緯北二〇

度三七分、双子座から蟹座を経て獅子座に順

行す。六日外合、本月中太陽に近接し過ぎて

観測に不適、一日午後六時近日點を通過す。

二日午前四時三三分と合(月の北四度四三

分)六日午前三時太陽と外合。十二日午前一時北方最大口心黄緯。二十三日午前五時四八分海王星と合(海王星の北一度一〇分)にあり。視直徑五・一。五・九八秒光度負一・八。負一・〇。等。四日(廿九日)十五日地球よりの距離一億九千三百七十六萬五千餘軒。金星 一日赤緯六時四〇分、赤緯北一九度四五分、十六日赤緯六時八分、赤緯北一七度四九分雙子座にある曉星。一日午後九時太陽と内合となり、從つて曉星として東天に輝く。二日午後〇時二七分と合(月の北〇度六分)にあり。二十一日午後三時遠日點にあり。二十三日午後一時留を経て逆行す。二十九日午前四時二九分と合(月の南一度四五分)にあり。視直徑五・七八。四・一〇二秒、光度負三・〇。負四・二等。十五日地球よりの距離四千七百六十五萬餘軒。

火星 一日赤緯二時三三分、赤緯南一四度五七分、十六日赤緯二時三三分、赤緯南一四度四八分水瓶座にある夜中より出現の星

十九日午後九時三三分と合(月の南四度四四分)にあり。二十六日午後一時の留を経て逆行す。視直徑二・〇五八。二・三二一〇秒。光度負一・四。負一・三等。十五日地球よりの距離六千九百六十四萬三千餘軒。

木星 一日赤緯一六時四二分、赤緯南二度三八分、十六日赤緯一六時三七分、赤緯南二度三八分、分蛇遺座と蝸座との境界を逆行す

星にして終夜見ゆ。十三日午後一時一七分と合(月の南四度二七分)にあり。極直徑四・九〇。三九・一八秒。光度負二・一。

負二・〇。等。十五日地球よりの距離六億七千二百七十九萬八千餘軒。

土星 一日赤緯一三時三九分、赤緯南七度

三分、十六日赤緯一三時四〇分、赤緯南七度四分一分乙女座にある彗星。十日午後七時五

四分月と合(月の南二度二二分)十九日午前七時太陽と上短。極直徑一五・七八。一五・〇

〇秒、十五日外輪の長軸三八・七八秒、經軸九・六〇秒、光度〇・九等。十五日地球よりの距離十四億四千四百六十萬千餘軒。

天王星 十三日赤緯二時三二分、赤緯南四度八分水瓶座の東北隅を逆行中。二十日午後九時五七分と合(月の北一度四六分)にあり。視直徑三・五秒光度六等下三目地球よりの距離二十九億二千四百九十三萬八千餘軒。

海王星 十三日赤緯九時二六分、赤緯北一度五三分獅子座の西境を逆行中。五日午後七時九分と合(月の北〇度四三分)にあり。視直徑二・四秒光度八等十三日地球よりの距離四十六億二千八百九十九萬四千餘軒。

流星群 七月は八月に次いで流星多し。主なる輻射點は次の如し。

赤經 赤緯

五月一七日 一六時四八分 南二一度

六月一七日 二〇時一一分 北二四度

七月一八日 二〇時二〇分 南二一度

二八日一三二日 二二時三六分 南一一度

七月一九月 三時一二分 北四三度

七月八日一八月二十五日 三時四分 北五七度

七月南中の星座

三三 冠 天秤 蝸